

持続可能社会実現プロジェクト —地域資源を活かして—

昨年、私はこのプロジェクトにおいてリーダーを務めました。私は議論が行き詰まったとき円滑に議論が進むよう様々な知識を深めメンバーに共有し次第にメンバーも知識を深めるようになりました。そして最終成果報告会では優秀賞を受賞することができ、1つのプロジェクトを遂行するためには多角的な視点からアプローチする大切さを学びました。その得られた経験や知識を後輩たちにアドバイスする立場になりたいと思い、TAとしてこのプロジェクトに参加させていただきました。本来ならば対面にて議論が円滑に進むはずでしたが、今年は昨年と状況が違い、対面授業ができず授業をすべてオンラインにて実施しました。オンライン授業のため議論が滞りましたが、その中で履修生はグループを2つに分け、更にiPadなどの新規ツールを積極的に導入し議論を活発化させていきました。1年間、TAをさせていただき1番やりがいを感じたことはオンライン授業で受け身であった履修生が次第に主体的に調べ知識を深め一緒に楽しく授業をしていくことができたことです。最後に、1年間TAをやらせていただいた先生方に大きな感謝を申し上げます。

SDGs世代に贈る！ 「こどもと社会をつなげるゲーム」デザイン

夏休みに、履修生が対面での初の顔合わせをした時に、「初めて会った感じがしない」と皆が言っていたのがとても印象的でした。それほど、講義時間外でもWeb会議ツール上で定期的にミーティングをしたり、ゲームで遊んでみるなど、メンバーがコミュニケーションの時間を多く取ってきた証拠だと思っています。

また、自主的なイベントの企画や、履修生自らゲストスピーカーに連絡を取って講義に来ていただいた事など、プロジェクトに対してとても積極的な姿勢が多く見られました。

時には思い通りに進まないこともあったと思いますが、目を背けずに向き合ったことで、価値のあるゲームをデザインすることができたのではないかと思います。

一年間、本当にお疲れ様でした。